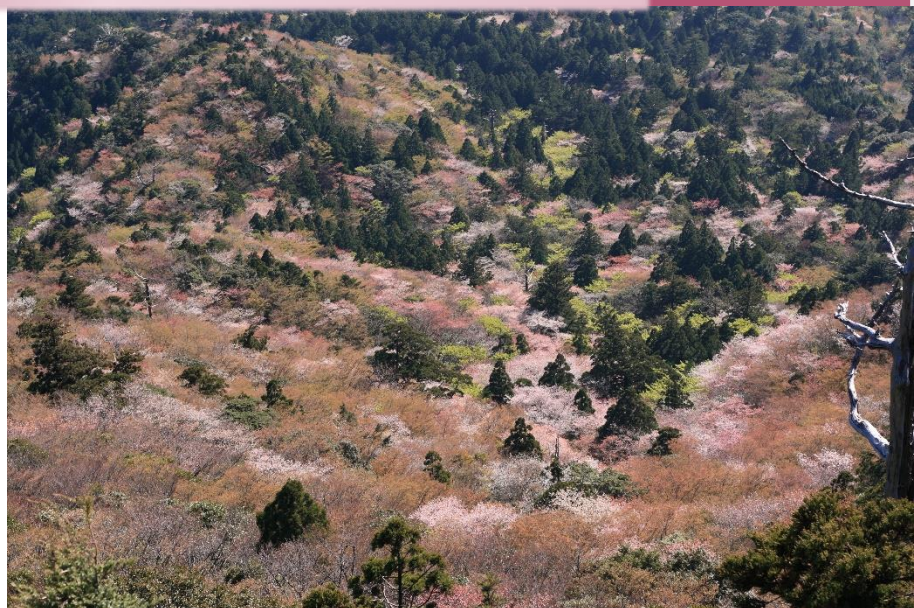


2021

公益財団法人屋久島環境文化財団 活動報告(令和2年度)



世界自然遺産の自然環境を守り 新しい地域づくりをめざして

屋久島環境文化財団は、屋久島環境文化村構想を推進する中心的な組織として、平成5年3月に鹿児島県、旧上屋久町、旧屋久町の出捐により設立されました。平成5年12月にわが国初の世界自然遺産として登録された屋久島には、人類共有の財産として未来に引き継ぐべき豊かな自然が息づいています。財団は、この屋久島の優れた自然を守り、自然と共生する新しい地域づくりを進めるために事業に取り組んでいます。

平成3年	屋久島環境文化懇談会設置
平成4年	屋久島環境文化村構想マスタープラン策定
平成5年	屋久島環境文化財団設立
平成5年	世界自然遺産に登録
平成24年	公益財団法人へ移行
平成25年	世界自然遺産登録20周年

Yakushima Environmental Culture Foundation

屋久島環境文化村構想

平成4年、「屋久島環境文化懇談会」「屋久島環境文化村研究会」「屋久島環境文化村マスタープラン研究委員会」の3つの会合を経て、「屋久島環境文化村構想」ができあがりました。これは、評価の高い自然環境とその自然を損なうことなく何千年にもわたって積み重ねられてきた屋久島特有の生活文化（これを「環境文化」と呼んでいます。）をイメージとして掲げ、環境学習や研究によってその価値を見直すことをとおして、屋久島の自然環境を保護しながら、屋久島に住む人々の経済的な豊かさにもつなげていこうとするものです。

屋久島環境文化財団は、この「屋久島環境文化村構想」を推進する中心的な組織として、1993年3月に設立されました。以来、多くの方々のご支援、ご協力を賜りながら様々な事業を展開しています。

屋久島の自然・文化の価値及び個性

解決の方向

- 自然とのバランスのとれた関係回復、共生型社会の再生
- 屋久島らしさの確立とそれによる付加価値づくり
- 外部との健全な関係の確立を通じた活性化

屋久島環境文化村の基本理念

- 自然環境の保護と地域振興の同時解決をめざす
- その根拠を、屋久島の自然の傑出性と歴史的に形成されてきた自然と人とのかかわり（環境文化）に求める
- 環境文化は、自然と共生する新しい地域づくりをめざす

地域がかかえる課題

- 自然環境保全上の課題
 - ・地域産業との調和の問題
 - ・観光客増による過剰利用、ゴミ・水問題
 - ・生活スタイルの都市化に伴うゴミ・水問題
 - ・生活・産業体系の変化による管理形態の変化
- 産業振興上の課題
 - ・自然保護との調整
 - ・小規模性、隔絶性による競争力不足
 - ・情報不足等による付加価値化の遅れ
 - ・労働力の不足
- 観光振興上の課題
 - ・集中型、通過型観光による資源利用の偏り、不十分な波及効果
 - ・観光客増による季節的オーバーフロー
 - ・関連産業の未成熟による魅力づくり不足
- 生活・文化上の課題
 - ・教育・医療等の不安
 - ・都市的魅力の不足
 - ・島内での過疎・集中等による効果的な基盤整備の遅れ
 - ・伝統的な集落機能の維持が困難

○法整備との調整の必要性

地域形成の戦略

「環境文化」を戦略イメージとした地域づくり

1. 自然環境の保全・管理と屋久島らしい自然空間の再生
2. 環境学習、研究機能充実等による屋久島の価値と個性の再認識
3. 国民的広がり負担による自然保全とボランティア協力
4. 島外者の受け入れと高付加価値化による地域産業の活性化
5. 国際的観点から屋久島の位置づけと国際的交流

地域形成の枠組み (環境文化村の基盤)

- 自然環境保全活用の基本方針
 - ・地域における自然とのかかわりの歴史を踏まえ利用秩序の再生を図るべく、島内を同心円状に3区分し、それぞれ異なる保全・活用を進める。
- 屋久島観光に関する方針
 - ・観光入り込み客の急激な拡大という趨勢の転換を図り「環境文化」に基づく新たな観光の創造をめざす。
 - ・屋久島の自然生態系を維持しつつ利用していくため、特定地域への過度の集中を避け、複数の利用拠点への分散を図る。
 - ・そのことによって結果的に入り込み数の増大に対応するが、量的な拡大はできるだけ抑え、利用の質的転換を促すよう多様なふれあいの場等を整備する。

屋久島方式による計画づくりと事業実施

環境文化村事業の柱

- 環境学習・研究施設の整備
- 環境形成事業の展開
- ボランティア協力事業の推進
- 新たな地域産業の創出
- 国際的交流の展開

環境学習プログラムの企画・開発・実践

1 自主事業

◇自然・文化体験セミナーの実施

自然を体験し、環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や町内外の方々との交流。

- ・屋久島の循環を巡る連続講座～森編～（写真①）・秋の屋久島トレッキング
- ・冬期1日セミナー（草木染めワークショップ 冬のクワガタ探し）（写真②）

◇ふるさとセミナー

町内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、屋久島のすばらしさを学ぶための体験型研修。

- ・屋久島子どもエコ隊 ・自然に親しむ集い（写真③）
- ・幼児環境教育推進事業

◇インターンシップ

2 受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修、一日研修、短時間研修を行うグループの受入

- ・鹿児島大学 他

3 屋久島高校環境学習・交流支援

- ・夏期宿泊研修
- ・第21回全国高校生自然環境サミット・全国高校生環境学習発表会（写真④）

4 出張屋久島講座

町内の児童・生徒に屋久島の環境学習を行う

- ・神山小学校 ・安房小学校

5 ユネスコスクール連携推進事業

「持続可能な開発のための教育」(ESD)に取り組む教育機関のユネスコスクール登録を支援 ・安房保育園 ・安房小学校（写真⑤）

5 屋久島研究講座

屋久島における研究・調査の町民への還元

- ・屋久島学ソサエティ（写真⑥）

写真①



写真②



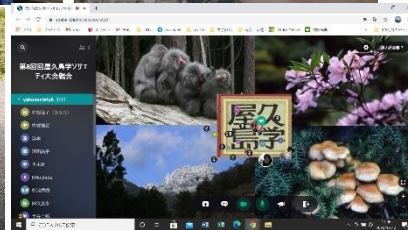
写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

環境形成事業

普及啓発や環境保全活動への支援・指導

1 環境保全活動支援

◇山岳部利用対策事業

屋久島の山岳部の荒廃を防ぐ

- ・登山者へのマナー指導
- ・荒川登山道の安全点検 (写真①)
- ・山岳部におけるマナーの啓発のため、ポスターやのぼり旗を作成・配付

◇エコツーリズム支援事業

エコツーリズムの取組を推進

- ・屋久島エコツーリズム推進協議会へ参画
- ・人材育成事業の実施
ガイドセミナー (写真②) NEALリーダ養成セミナー等の実施 (写真③)

◇生物多様性保全事業

環境保全のための取組を行う者への支援

- ・屋久島生物多様性研究活動奨励事業
- ・野生生物生息環境保全等対策支援事業

◇うみがめ保護対策事業

ウミガメの産卵・孵化場所の海岸の環境保全

- ・うみがめ保護者降臨維持管理 (写真④)
- ・保護柵の設置及び海浜の清掃活動 (写真⑤)
- ・マリンワーカー事業(環境省委託事業)

2 屋久島動植物調査等事業

環境学習や自然観察の資料の作成

- ・「屋久島の昆虫ガイド」改訂(第3版) (写真⑥)

3 山岳部誘客推進支援事業

山岳部のウィズコロナ対策

- ・「屋久島版ガイドングマニュアル」の作成及び発信PR



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



機関誌の発行・ボランティアネットワークの構築など

1 ボランティアネットワークの形成

ボランティア活動の活性化

・環境文化ボランティア

財団各種事業・イベントへの支援

・ボランティア団体への支援

支援対象：パークボランティアの会

2 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

屋久島の環境保全活動や地域づくり活動への支援のための

「屋久島ファンクラブ」会員の募集・運営

年会費 2,000円(各種特典付)

令和3年3月末会員数 812人

3 財団情報の発信

・屋久島通信の発行(年3回)

財団活動報告 屋久島の里 屋久島に住む理由 屋久島に伝えたいこと

賛助企業・寄付企業紹介 特集など

対象：屋久島ファンクラブ会員 賛助企業 寄付企業 関連機関

・まるりん通信の発行(月1回)

財団事業の広報・募集、インストラクターだより、財団活動報告

対象：屋久島町全世帯

4 研究者ネットワークの形成

屋久島町内をフィールドに調査・研究を行う研究者等への情報提供や研究成果の町民への還元する場を設ける



エコツーリズムの支援、伝統文化保全活動の支援

1 里のエコツアー推進事業

「屋久島里めぐり推進協議会」の運営

里のエコツアーの拡充

新規集落候補 安房集落の視察 (写真①)

2 屋久島の里づくり推進事業

・屋久島の歴史ガイドブック作成 (写真②)

・屋久島の里の説明看板設置事業 (写真③)

3 地域づくり支援事業

集落の伝統文化等の地域資源の発掘保全や優れた芸術活動への支援

⇒コロナウィルスによる影響により中止

4 特産品開発事業

新たな屋久島の特産品の開発等への支援

支援内容：「屋久島の草花を利用した特産品開発」

5 屋久島の未来と環境文化を考える新たな協働事業

◇世界自然遺産屋久島の未来と環境文化を考える懇談会活動

有識者による屋久島の未来を考える懇談会の開催

◇屋久島の自然、環境文化を最先端技術映像等で内外に発信

映像作成「自然解説編」(屋久島の生物の解説)

「インタビュー編」(屋久島環境文化懇談会委員及び有識者)

◇屋久島の環境文化の普及啓発活動

・「屋久島里めぐり」の充実強化

・奄美群島とのまち歩き実施団体との交流

徳之島虹の会 (写真④)

奄美・屋久島まち歩き協議会総会 (写真⑤)

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤

外国人留学生の受入 国際交流派遣事業への支援

1 日新交流支援事業

屋久島町と姉妹木盟約締結をしているニュージーランドに屋久島町内中学生高校生を派遣する事業を支援

2 外国人留学生ホームステイ受け入れ事業

鹿児島県内の大学の留学生を屋久島町内の家庭で受入れ交流する

⇒今年度はコロナウィルスによる影響により中止

中核施設管理運営

屋久島環境文化村センター



屋久島に関する総合的な情報の提供
交流・案内の拠点施設(ビジターセンター)

屋久島環境文化研修センター



屋久島をフィールドとした環境学習のための中心施設

1 中核施設管理運営

2 施設利用促進

交流ホール展示

宮之浦回顧展(写真①) まるりん塗り絵展 小杉谷・石塚写真展 など

3 財団ホームページの管理運用と情報発信

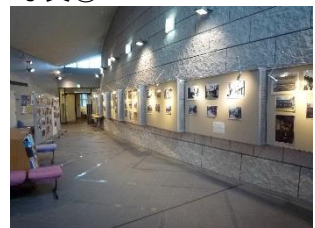
ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの運営

4 教育機関との連携

教職員及び生徒の体験学習の受入



写真①



収益事業

収益事業 屋久島に関する図書や財団オリジナルグッズの販売



財団オリジナルガイドブック

- 図説 屋久島(日本語)★
- 図説 屋久島(英語)★
- 屋久島の植物ガイド★
- 屋久島のコケガイド★
- 屋久島の野鳥ガイド★
- 屋久島の海辺生物★
- 屋久島の地質ガイド★
- 屋久島の昆虫ガイド★

財団オリジナルグッズ

- しおり
- マスキングテープ★
- エコバッグ★
- 屋久島の里の絵はがき★
- 手ぬぐい★

★通信販売で購入できます

屋久島関連本

- 屋久島の民俗文化
- 屋久島の民話(緑の巻)(紅の巻)
- 絵詩集 森のおしゃべりー命あふれる屋久島の心
- 密行 最後の伴天連シドッティ
- ウィルソンの屋久島
- 屋久島もっと知りたい
- 屋久島地質探検マップ
- ヤクザル大王
- アザハタ王と海底城
- 「屋久島ことばで探す」魚介イラスト図鑑

他多数

屋久島の植物

- 屋久島のコケ 苔玉 オオタニワタリ 屋久島の杉 など

賛助企業

アイワホーム(株)、(株)エム・エム・シー、(有)エコアシステム、学校法人榎園学園鹿児島環境情報専門学校、(株)オブグリーン、(株)オリオンツアー、(株)鹿児島カード、(株)鹿児島銀行、キャンバスサインワークス、(株)キンカメ、近畿日本ツーリスト(株)、黒瀬水産(株)、くんせい屋けい水産、相模ゴム工業(株)、サツマ酸素工業(株)、JRホテル屋久島、シオノギヘルスケア(株)、(株)老舗恵命堂、(株)ジーエス・ユアサバッテリー、(株)ジェーシービー、(株)島津興業、(株)武田産業、(有)トライコーポレーション、ナチュラル(株)、(株)日本カウンセリングサポート、(有)柏栄興産、ハラダ製茶販売(株)、本坊酒造(株)、三岳酒造(株)、医療法人明気会岩本クリニック、社会福祉法人明星会安房保育園、学校法人KTC学園屋久島おおぞら高等学校、屋久島ガス(株)、(株)屋久島新生社印刷、屋久島電気(株)、屋久島ネイチャー企画フィールド、屋久島パイン(株)、(株)リアークスファインド、コミュニティショップわたなべ

寄付企業

イオン九州(株)、(株)伊藤園、(株)クオカード、サーモス(株)、(株)ダイエー、(株)南日本放送

屋久島ファンクラブ会員・賛助企業募集中

屋久島環境文化財団では、世界自然遺産の島屋久島のすばらしい自然を未来へ引き継ぐための様々な活動を協力支援していただくために、「屋久島ファンクラブ」会員、「賛助企業」を募集しています。

いただきました会費及び賛助金は、屋久島の環境保全や環境文化芸術支援などに利用します。

 イオンフィナンシャルサービス

 VISA



お支払いには各種クレジットをご利用いただけます。



公益財団法人屋久島環境文化財団

〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦823-1

TEL 0997-42-2900 Fax 0997-49-1018

<https://www.yakushima.or.jp/>